

LIBOR 移行問題の基礎

2019年5月16日（木）開講

OTC クオンツスクール

銀行間の短期無担保貸し借り市場の縮小や LIBOR 不正を背景に、LIBOR、EURIBOR、TIBOR、CDOR といったいわゆる IBOR の信頼性が揺らいでいるところに、LIBOR の公表を監督している FCA(英国の The Financial Conduct Authority)は 2022 年からパネル銀行に LIBOR の提出を義務付けないと表明。デリバティブで参照される IBOR が公表停止された場合のフォールバックに関する市中協議文書を ISDA が公表し、リスクフリー金利ベースの代替金利や IBOR を模倣するためのスプレッドの決め方に関して一定のコンセンサスが得られると、一気に IBOR 廃止は現実味を帯びてきた。

デリバティブ、ローンや債券で参照される IBOR を各通貨ごとのリスク・フリー金利(RFR)として選ばれた翌日物金利で構成されるリスクフリーなターム物金利に徐々に代えていく方策を検討するワーキング・グループが先進各国の中央銀行内に制定されている。ここでは、ローンや債券等の現物商品を含めた標準的なフォールバック案を議論しており、代替金利として、ISDA の市中協議でのコンセンサスであるリスクフリーの複利後決め金利よりは、短期 OIS 金利等のリスクフリーの前決め期間金利を支持している。

既存の取引で参照する IBOR をリスクフリーの期間物金利で代替するフォールバックの問題とは別に、IBOR を参照する商品から翌日物金利で構成されるターム物金利を参照する新しい商品への移行問題がある。IBOR が廃止となった場合、フォールバックで IBOR がリスクフリー金利に置き換わる既存取引とマーケットで主流となる新しい取引は同じであることが望ましい。インターバンク市場や顧客市場の将来を総合的に考えると、IBOR の移行後には、バックワード・ルッキングなターム金利とフォワード・ルッキングなターム金利を参照する両タイプのスワップや金利オプションが混在することが考えられる。

今回のセミナーでは、1) 現在に至るまでの IBOR 移行に関する背景、2) LIBOR 中心の金利体系から、OIS 中心の金利体系への変化、3) デリバティブ、債券及びローンでの IBOR のフォールバックについて、4) 金利のデリバティブ商品の変化、5) 金利デリバティブ・マーケットの変化 について数式はなるべく使わないで容易に解説する。受講に際して特に前提となる知識はない。

セミナー対象者

- ・ 金融機関や事業法人に勤務されていて、LIBOR 移行問題に関係する方

- ・ 金融機関や事業法人に勤務されていて、LIBOR 移行問題にこれまであまり触れる機会がなかった方
- ・ LIBOR 移行問題を一般常識として学びたい個人の方

講義日程

日程： 2019年5月16日（木）

時間： 18:00 – 21:00

会場： JA ビル カンファレンス 301B

定員： 25 名（申し込み人数が定員になった時点で締め切らせていただきます）

担当講師

高田勝己（株式会社 Diva Analytics 代表取締役）

平成元年、一橋大学経済学部卒業。日本債券信用銀行 資金証券部、さくら銀行 商品開発部、コムertz証券会社 債券部トレーディングデスク で金利、為替レート、株式、クレジットのクオンツを務める。ペアースターズ・ジャパン 債券部 で金利・為替エキゾチック・トレーダー、RBC(Royal Bank of Canada) キャピタルマーケット・ジャパン デリバティブ・トレーディングデスクでヘッドトレーダーを経て、現在、株式会社 Diva Analytics にてデリバティブ、XVA や規制資本のモデルに関するシステム開発とコンサルティングに従事する。東京大学大学院経済学研究科で非常勤講師を務め、デリバティブモデルの C++でのプログラミングを担当。

シカゴ大学 MBA Analytic Finance 専攻。東京大学大学院 数理学科研究科 後期博士課程単位取得退学。

受講料

20,000円（税抜）

お申込み

OTC クオンツスクールのホームページ <http://www.divainvest.jp> から申し込んでください。

講義内容

| | |
|--|--|
| ・ 金利指標改革 | ・ IBOR フォールバックの仕組み |
| ・ リスクフリー金利 | ・ フォールバック・トリガー・イベント |
| ・ 先進各国のリスクフリー金利検討委員会 | ・ マーケット変化の予想 |
| ・ IBOR の代替金利 | ・ Overnight Index Swap (OIS) |
| ・ Backward-looking なリスクフリー期間金利と Forward-looking なリスクフリー期間金利 | ・ OIS Index Swap (OIS ²) |
| ・ ISDA のデリバティブに関する IBOR のフォール バック案 | ・ 新しい通貨スワップ |
| ・ リスクフリー金利検討委員会の現物取引（ロー ンや債券）に関する IBOR のフォールバック案 | ・ 新しいアセットスワップ |
| | ・ 新しい金利オプション |
| | ・ クレジットスプレッド：LIBOR スプレッドから OIS スプレッドへ |

(注) 講義内容は見直し等により変更になる場合があります。